



目指す
児童像

し自然に親しむやさしい子
じ自分で学び考える子
き気力・体力を高める子
小将来の夢をめざす子

令和7年 4月15日
平戸市立志々伎小学校
校長 山田 泰生
No. 58

「足りなさ」の大切さ

1年生が登校し、多くの上級生が1年生に関わっています。特に、6年生は、お世話を一生懸命に、また、丁寧にしてきています。それは一見、1年生がお世話してもらって与えられているだけに見えますが、実は、6年生もまた、多くのことを学んでいるようです。

1年生は、学校の当り前がまだわかりません。そこで、それを教えるために、6年生は、想像しながら声をかけ、試行錯誤しながら接しています。いわゆる、「足りなさ」から、「思いやり」の言動を学んでいます。（1年生に関わっている6年生の顔は、本当にいい顔をしています。）

これは、1年生だけでなく、2～6年生の学級でも同じことが言えます。一人一人の個性があり、得意不得意がそれぞれにあります。困ったことがあったとき、周りの友達が思いやりのある言動を行うことで、困った子も助かり、思いやりのある行動をとった友達も心が成長します。「足りなさ」から、多くのことを学ぶことができるのです。

1年生が入学してくれて、「足りなさ」の大切さを再認識できました。子どもたちに教えられました。感謝です。

「いいね！」の紹介

いいね！④⑥

入学式で、「児童代表の挨拶」を〇〇さんが行いました。全て暗記して、はきはきと発表できました。前後の移動の歩き方もきびきびとして、大変立派でした。そして、何より、始業式の後の入学式練習のとき、既に全てを完璧に暗記していたことに驚きでした。多分、家で何十回も練習しただろうと予想できました。その責任感と努力に感動しました。いいね！

いいね！④⑦

入学式の校長式辞の中で、在校生の出番を設けたく、挨拶の手本を見せてもらいました。〇〇さんが、そのときの全体への号令を立候補してくれました。大人でも緊張する入学式の中で行うことなので、その一歩踏み出す勇氣は大きなものだったと思います。そして、しっかりやり遂げました。いいね！

いいね！④⑧

4月10日、登校してすぐ、1年生が一人で中庭を歩いていました。運動場においてようとしていた〇さんが、その1年生に気づき、おりのをやめ、声をかけていました。登校初日の1年生にとってとても安心できる行動をとってくれました。いいね！